



## CONTENTS

- \* 発行8年を迎えて
- \* 研究室見学会

- \* 研究補助員配置制度
- \* 英語セミナー

- \* 農産物販売
- \* こども大学情報
- \* 保育園たより



## 「かもみーる通信」発行8年目を迎えて



副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

毎月1回、皆さんに楽しんでいただいている岐阜大学男女共同参画推進室のニューズレター「かもみーる通信」の創刊から、ちょうど7年の月日が経過しました。2010年7月創刊号の「かもみーる通信」に、名称の由来を次のように紹介しています。

### ー カモミール(顔みーる)についてー

カモミールは男女共同参画推進室のシンボル花です。

カモミールとは、ハーブの一種で「大地のリンゴ」というギリシャ語が語源です。その名のとおり、リンゴの果実の香りがし、ハーブティーやアロマテラピー、また入浴剤として利用されています。花言葉は「親交」「逆境に負けない強さ」です。

名付け親は八嶋 厚理事（当時）で、「カモミール」と「顔見ーる」が掛けてあり、助けの必要な人の顔を見て支援が出来るように、という思いが込められています。

男女共同参画推進室では、カモミールの名に恥じないように皆さんが働きやすい環境や制度作りに邁進していきます。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

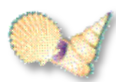
今回、改めてニューズレターの名称の由来に触れましたのは、大勢の方々のご支援ご協力のもと展開してきました岐阜大学多様性人材活力推進・男女共同参画推進の取り組みの原点を、構成員の皆さんとともに、再度確認しておきたかったためです。

ところで、皆さんは、カモミール（和名カミツレ）の栽培で日本一の生産量を誇っている地域が、岐阜県大垣市にあるのをご存知でしたか？ 実は、大垣市薬草組合では1984年以降カモミールを栽培していて、その生産量は日本一とされています。<http://www.city.ogaki.lg.jp/0000002677.html> 毎年5月上旬、「農事組合法人 大垣南」の農地では、マーガレットの花を一回り小さくした純白のカモミールの花々が一面に咲き誇るのだそうです。私自身は未見ですが、きっと素晴らしい光景であるにちがいない。

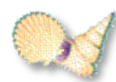
そのカモミールの歴史は古く、4千年以上遡る古代メソポタミアのバビロニアで、既に薬草として用いられており、日本には江戸時代の終わりにオランダから渡来したとのこと。このようなカモミールの歴史的実用的な効能とともに、「親交」「逆境に負けない強さ」という素敵な花言葉が、岐阜大学男女共同参画推進室のシンボル花決定の決め手となりました。

構成員の活動・交流拠点であり相談窓口である「カモミール・カフェ」、教職員の子どもを対象とする夏季休暇中の学童保育「カモミールこども大学」、「サイエンス夢追い人育成プロジェクト」での出前講義担当女子大学院生を対象とする「ランチタイム・カモミールカフェ」、男女共同参画推進のための学生組織結成を目標とする「カモミール・ミーティング」など、直接「カモミール」の名を冠しての取り組みも精力的に展開しています。

「働きやすく学びやすい大学」の実現に向けて、構成員の皆さんが必要となさっている支援のための制度設計や体制づくりなど、〈カモミールの花のように〉親近感あふれる交流とともに実効的な取り組みの遂行を切望してやみません。「かもみーる通信」発行8年目にあたり、今後も、岐阜大学男女共同参画推進室・人材開発部職員育成課のスタッフが中心となつての活動が、〈カモミールの花のように〉皆さんに親しまれ、普及してゆくことを心より願っています。引き続き、皆さんのご支援ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。



# 研究室見学会（発展型出前講義）



7月20日（木）に、長良高校理系選択の2年生女子40名が岐阜大学を訪問し、工学部・応用生物科学部・教育学部の計5つの研究室を見学しました。大学がどんなところか知らない生徒さんが多い中、研究室を見学し、女子大学院生と交流することができるこの企画はとても好評で、それぞれの研究室で興味深そうに説明を聞いたり、体験させてもらっている女子生徒さんの様子から、将来の進学・進路について真剣に考えるための重要な体験になったことがうかがえました。

研究室見学後の女子大学院生との交流会では、女子生徒を5つのグループに分け、分野を問わずにそれぞれのグループに1～2人の女子大学院生に担当してもらい、研究だけではない「先輩のアドバイス」を聴くことのできる場を設けました。研究室では尋ねづらかったことも、年齢的にも近い「先輩」には聞ける雰囲気があり、どのグループも時間ぎりぎりまで楽しそうにお話を聴いていました。

平成24年に始まったこの研究室見学会による長良高校女子生徒さんとの交流も今年で6回目となり、最初に訪問してくれた生徒さんは、もう大学を卒業する年になっているはずです。関係者一同、将来のリケジョ拡大への確実な手ごたえを感じることができました。



工学部 社会基盤工学科 倉内研究室



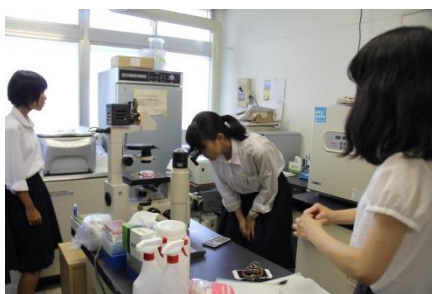
工学部 機械工学科 山田研究室



教育学部 理科教育 仲澤研究室



生命の鎖統合研究センター（G-CHAIN）  
つくる領域・糖鎖コアグループ 安藤研究室



応用生物科学部 応用生命科学課程  
食成分機能化学研究室



研究室見学を終えて  
女子大学院生との交流会

## 【参加女子大学院生】

＜ 倉内研究室担当 ＞

- ・安藤 宏恵  
(工学研究科)

＜ 安藤研究室担当 ＞

- ・田中 友理  
(応用生物科学研究科)
- ・浅野 早知  
(応用生物科学研究科)
- ・中田 えりな  
(応用生物科学研究科)

＜ 山田研究室担当 ＞

- ・岩永 麻友  
(工学研究科)
- ・永田 麻純  
(自然科学技術研究科)

＜ 食成分機能化学研究室担当 ＞

- ・竹内 萌恵  
(自然科学技術研究科)
- ・仲村 絵理香  
(自然科学技術研究科)

(敬称略)

＜ 仲澤研究室担当 ＞

- ・May Sweet  
(工学研究科)

研究室へ向かう前には注意事項等の説明をおこないました。





## 研究補助員配置制度



この制度は、育児や介護等により研究時間の確保が困難な研究者を対象に、研究データ解析、学会発表資料作成、実験補助、文献調査、統計処理等の研究補助業務を行う研究補助員を配置し、育児等と研究との両立を支援する目的で行うものです。また次世代育成のために、研究支援者と被支援者双方のキャリア形成、キャリア復帰等のチャレンジ支援・再チャレンジ支援に寄与することも目的としています。

### 平成29年度第2期

配置期間 平成29年10月1日～平成30年3月31日

申請期間 平成29年8月3日（木）～ 8月18日（金）午後5時必着

募集中

#### 申請資格

- 1) 小学校6年生までの子どもをもつ研究者  
(休暇、休業中を除く)
- 2) 市町村から要介護、要支援、障害者の認定を受けている親族について、主たる介護・看護者が申請者自身である研究者  
\*上記1) 2) の申請資格に関しては、配偶者がいる場合は、配偶者がフルタイム就労者である者に限る。
- 3) 妊娠中の体調不良により、研究活動等の遂行に支障がある女性研究者（産前休暇中を除く）  
\*上記3) の申請資格に関しては、配偶者の就労形態に関しては問わないが、申請者の体調に関して、配偶者、研究室責任者あるいは部長、医師などよく相談し、研究継続が可能かどうかを確認の上、申請すること。
- 4) 男女共同参画室長が認める者

#### 本制度の対象となる職種

- 1) 常勤職員のうち、以下の職に従事している者  
(a) 教授、准教授、講師、助教、助手
- 2) 有期雇用職員（フルタイム）のうち、以下の職に従事している者  
(a) 特任教員  
(特任教授、特任准教授、特任講師、特任助教)  
(b) 研究員  
(研究員、研究支援員)\*  
(c) 医員\*
- 3) 男女共同参画推進室長が認める者

\*ただし、大学院生は不可

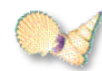
詳細は、男女共同参画推進室WEBでご確認ください。

親族の体調の急変等による介護・看護のため、また、妊娠中の体調不良から研究活動が困難となった方は、申請期間とは関係なく、いつでもご相談下さい。

### 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



## 英語スピーキングトレーニングセミナー



今回は、これまでの英語関連のセミナーとは若干趣向を変えて実施しました。基本的な英語の知識を有しているものの、「会話」に慣れていない受講者のために、現役通訳者による、よりスムーズに英語で発想し、口に出して実践するトレーニングをおこないました。計16名の受講者に、サイマル・インターナショナル株式会社から派遣された講師の指導を受けていただきました。

セミナーの中では、スピーキングのコツや効果的なトレーニングの方法の説明があり、2～4人のグループで実践練習が行われました。また、1人でできる勉強法の説明などもあり、受講生の方々から、セミナー後も実践できるとご好評をいただきました。

本事業では関連企画として、8月7日（月）に「通訳者が教える『伝わる英語』セミナー」を、また、9月20日に岐阜薬科大学キャンパスで英語関連のセミナーを計画しています。是非ご参加ください。

☆ 8月7日（月）の「通訳者が教える『伝わる英語』セミナー」については、次号でご報告します。



▲7月24日（月）英語スピーキングセミナーの様子



## 農産物販売



7月3日(月)～7月7日(金)の5日間、岐阜フィールド科学教育研究センター農場の農産物販売をカモミール・カフェでおこないました。

人気の青梅、すもも、今年初登場のはちみつ、定番野菜のトマト、ミニトマト、きゅうり、なす、ガーリック、たまねぎに加えて、昨年登場して皆を驚かせたUFOズッキーニや、長さ30cm程の大きな黄色いズッキーニなど珍しい野菜も並びました。長唐やピーマンの詰め放題では、学生さんが大奮闘！立派なタワーが完成しました。その他、小さな可愛いフェアリーウィングやコケ玉も目を引いていました。この期間に販売されたジャムは、いちごと梅の2種でしたが、農場では桃とすもものジャムも販売が始まっています。



<http://www1.gifu-u.ac.jp/~gufarm/html/hanbai.html>

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」



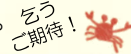
## — 夏季休暇中の学童保育トライアル —



## こども大学情報



今年のこども大学は、「夏季休暇中の学童保育トライアル」として、8月7日(月)～10日(木)、21日(月)、22日(火)の6日間実施します。募集期間中に応募があった、岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株の教職員・社員の小学生の子どもが参加して、初対面の子たちも元々お友達だった子たちも一緒に楽しい時間を過ごします。前半の4日間は、株ポピンスによる学童保育、後半には、21日のアピ株によるミツバチ出張講座、22日の岐阜フィールド科学教育研究センターでの農場見学～ピザ・マヨネーズ作り、両日の午後には岐阜大学教育学部美術教育の辻泰秀教授による講座、岐阜女子大学の齋藤陽子准教授による講座といった、子どもたちの心に残るアクティビティーや講座があります。また、夏休みの宿題もしっかり頑張ってもらえる時間をもっています。お昼には、岐阜大学生協食堂のこども大学スペシャルセットや美味しいデリバリー弁当でランチタイムを楽しみます。ぞうご期待！



## 保育園たより

それぞれの行事を、みんな元気に楽しみました！



### 6月19日(月) 富岡先生とペインティング遊び



### 7月3日(月) プール開き



### 7月7日(金) セタ会



岐阜大学男女共同参画推進室(人材開発部職員育成課男女共同参画係) URL: <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL: 058-293-3378 FAX: 058-293-3396 E-mail: [sankaku@gifu-u.ac.jp](mailto:sankaku@gifu-u.ac.jp)

\*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。